

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	八王子市立北野保育園
-----	------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

5 歳テーマ 「感じる」

<テーマの設定理由>

「感じる」をテーマに、子どもたち一人一人が身の回りの環境や事象に主体的に関わり、五感を通して多様な気付きや発見を得ることを目的として実施した。自然、音、色、におい、手触り、光や温度など、日常の中にあるさまざまな刺激に触れる経験を通し、自分なりに感じたことや考えたことを言葉や表現で表す活動を行う。
--

2. 活動スケジュール

1 期 身の回りの自然や素材に触れ、音や色、におい、手触りなどを五感で感じ取る経験を重ねた。「気持ちいい」「ふしぎ」「いつもと違う」など、子ども一人一人が感じたことを言葉にしようとする姿が見られた。

2 期 感じたことと自分の気持ちを結び付けながら、友達と伝え合う活動を行った。友達の感じ方に触れることで、違いに気付き、共感したり驚いたりする様子が見られた。

3 期 これまでの体験をもとに、感じたことを形や表現にして表す制作活動や発表を行った。協同的に取り組む中で、自分の思いを伝えようとする姿や、相手の表現を受け止める姿が育まれた。
--

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 虫かご、虫取り網、絵の具、カップ、スポイト、筆、楽器、懐中電灯、顕微鏡など・ OSEBA、館クリーンセンター、立川プレイパーク！の施設利用・ 活動にあたっては、子どもたちが五感を使って主体的に感じ取れるよう、虫かごや虫取り網、顕微鏡、懐中電灯などを準備した。園外では、OSEBA や昭和クリーンセンター、立川プレイパークを活用し、自然や地域資源に触れる体験ができるようにした。 |
|--|

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

立川プレイパーク！を訪れ、子どもが自分の発想で自由に遊びを生み出し、発展させる探究活動を行った。紙や画材、工具を使った工作や絵具による表現活動を通して、素材の感触や色の変化、道具の使い方を試しながら、「感じたこと」を形にする経験を重ねた。

また、チュールをたくさん使った広場では、チュールの手触りや色、友達と遊びを自ら見つけ、発展させる姿があった。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

- ・「こうしたらどうなるかな」「この色きれい」「音が大きい」など、感じたことを言葉にしながら、遊びを自分なりに工夫し発展させていた。
- ・友達の遊びや表現に刺激を受け、「一緒にやろう」「それいいね」と関わり合いながら、新たな遊びを生み出す姿が見られた。
- ・保育者は、子どもの発想や発見を大切に受け止め、必要に応じて声をかけることで、主体的な探究が広がるよう関わった。



5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

大人が遊びを用意しなくても、自由な環境の中で素材や音に触れることで、自分なりの興味や「やってみたい」という思いを広げていく姿が見られた。感じたことを手や体、言葉や表現で試しながら遊びを発展させる中で、一人一人の感じ方や発想の違いが、遊びの深まりにつながっていることに気付いた。

保育者が答えや方法を示すのではなく、子どもの気づきや試行錯誤を尊重し、見守る関わりが、主体的な探究の気づきになることを再認識した。